京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告 五號活字十七字詰一行一圓金五十錢 特別廣告 五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久謙一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三四番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二二一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

●東京たより

◎綠蔭幽草の好時期漸く去りて、方に梅雨の天に入らんとする東京の今日此頃は、早くも陰鬱の氣に襲はれて、自ら不快の感を覺へし難く候、唯々此際勝わ人意を强うするは國技の大相撲位にて候。

◎新に天下の横綱となりたる太刀山の力量と技倆とは今回の興行に於て、天晴れ一層目立ちて現はる可し、梅ヶ谷漸やく老ひ、常陸亦宿昔の勢力に乏しきに至りたれば、衆望を一身に集めて土俵に上るべきもの獨り太刀山あるのみにて候。

◎されど太刀の力量技倆は横綱に爲りたるが爲に始めて現はるしに非ずして技倆力量あるが故に横綱となりたるのみ、若し太刀の力量と技倆なくして横綱となりたる者あらんには是れ相撲道の耻辱なり、天下の人誰か之れを冷笑せざらんや、横綱既に然り、况んや堂々たる士丈夫にして狒猴の冠を學ぶものに於てをや、而も世は横綱の力量技倆に依らざれば贏ち得べからざるを知りて、士丈夫の名誉と面目とが、才識鑑識に依るに非ざれば攫し得べからざるを悟らざるは一大痛恨事に候はずや。

◎東京市會議員の選擧は去る七日を以て全部終了致し候、其競爭は例の如く、が强て其醜劣醜態なりしとの事に候、裏面の消息を摘發するに及ばざれど相變らず惡劣醜陋なる手段も行はれたるやに候、若し夫れ誠に表面に顯はれたるものにつきて一言すればシルクハツトとフロツコートとが、出入の酒屋八百屋肴屋車屋の前に低頭平身したるにて候、而して其頭の下げやうの上手なるが當撰し、下手なるが落撰したるもの如くに候、斯る撰擧によりて當撰したる者が、嚴正なる意味に於て果して市民を代表すべき資格あるやなしやは問ふ丈が野暮に候

◎貴族院三爵議員の撰擧も愈切迫致し候が、是れにも亦相應(或は不相應)の惡事は行はれ居るやの噂に候、二千圓の歳費は富有なる大名華族となりてこそ、物の數にも入らざる、公家華族其他の貧乏華族には米櫃に有つくと有つかぬとの境なり、况んや此米櫃に名寄といふ景物のお蔭へものあれば、苟も候補者と銘打たれん程の者は一生懸命の有様にて盛々實々の手段を講ずるも亦尤も至極に候、乃ち尤もには候得共、斯る運動により當選したる人々の人格と才識とが國政に參與するに足るものなるや如何は、前の市會議員の例と共に同斷と申すの外之れなく候。

◎現内閣も却々動きさうになく、寧ろ行ける處まで行けの意氣込らしく候此分にては先は暫らく居座りの体なるべきか、山本内閣さては高島革丙將軍がどうとかの説もあれど此は到底物になるまじく、現内閣の位地が愈々持てなくなれば、ヤハリ其の晩には西園寺内閣に二三の藩閥出身者を加味した准政友會内閣の出現すべきは殆んど疑を容る可らざる事のやうに承はり申候。

●鮮人の佛教歸依

併合以來基督教頓みに不振を極めたるは毎度所報の如くなりしが其反動的現象とも見るべきか爾來鮮人の我佛教に歸依するもの多く佛教各教會に於ては既に鮮人部を設置し居り加之去四月中京都に於ける大遠忌には鮮人の道俗を問はず參列したるのみか歸敬式を拜したるものあり又龍山に於ける本派本願寺の開教本部にては昨秋以來鮮人に對し歸敬式を施したるもの約三百名に及びたるやにても其一斑を窺知するに足るべく斯て近來鮮人佛徒も時勢の一變に覺醒する所ありうれ〳〵布教傳道の活動を始め兎角佛教界多事となりたれば此教勢の擴張を見込み内地より佛壇佛具の輸入を計畫し居る向きもありと

●朝鮮倶樂部改稱　光化門通りの朝陽倶樂部は今回朝鮮正樂傳習所と改稱したるが其設立の目的に於ては然の變更を見ざるのみならず今後益進んで朝鮮音樂の研究と傳習に努力すべしとなり

漫筆 風行錄(四)

天人見

◎總督の學校巡視、吾曹以て近來の會心事と做す。然り、欣欣懇懇の會心事也。

◎惟ふに、健全なる新國士を築成する所以の要諦蓋し物質、精神兩方面、駢進に在るや論無し。

◎翻つて半島の現情は如何と看るに、物質界に於いては進展漸く著々たるものあるに、獨り精神界の開拓は猶ほ混沌たりて、未だ能く秩序だも成さず。

◎由來、精神界に對する施政當局の態度、甚だ閑却、輕視の傾あり。吾曹嘗て此風を看て、他年の殃禍、或は此に胚胎し來るなきやを虞れたる者。

◎今や總督に此擧あり。以て吾曹の會心事と做し、欣欣懇懇たるもの所以なきに非ず、洵に夫れ這個に在り焉。

◎聞く、民間立一小學校、總督の巡視を聞いて、校長頗る周章の色あり、即ち草然として遽かに兒童を集め、總督の氏名、官名、爵位、勳等を數へ、更に激勵して閣下、令夫人、令息、令孃の稱呼を練習反復せしむ、兒童の惶惶として纔かに暗記するに至るを見、茲に始めて生色ありと。

◎吁、新開地の教育者は、概ね斯くの類の徒歟。巷説の傳ふる所也と雖、吾曹は悄然、又憮然。

◎本稿を草するの夕、澄空一碧、月光特に冴ゆ、宛として秋宵の若し、乃ち筆を停めて倭城臺を吟行す。

◎偶々、金線二本の一老人を捕へて叱咤するあるを見る。吾曹、事の由を知らずと雖、要するに斯輩の如き、竟に晏子の御者たる而已。

◎新刊紹介

△刑事法評林(第三卷第六號) 花井鶴澤兩博士監修刑事法に關する諸大家の學説及評論を掲ぐ公法研究の資料たらしむ法曹界必要の雜誌たるや喋々を要せず(一冊十五錢東京市本郷區本郷一丁目啓成社)

△富之研究(第一卷第一號) 如何にして富を得るや乎の問題に對し新らしき實際に適切な材料を提供せむとする本誌の抱負は號第一に掲げし「地方小資業の現在及將來」は有益な文字此他何れも精撰せる讀物を以て充さる(一冊五錢東京市神田區錦町三丁目富之研究社)

△東京經濟雜誌(千五百九十八號) 國債償還歩合法(小林博士)生絲の需要供給(社説)港灣修築補助(社説)金は路傍に有り(金森通倫)等あり(東京市京橋區顯左衛門町經濟雜誌社一冊十二錢)

△銃猟界(第七卷第五號) 日本唯一の銃猟雜誌銃猟界の人は此雜誌を讀めば益する所大ならむ(横濱市本町三丁目金丸銃砲店一部十二錢)

官製煙草 朝日

召使お初　第七十八回

黒法師

『眞實打開け、物語りして與れやつたろいでこそ私がこなた身を思ふ甲斐もある』と相生はぎろりとせし目に、徳右衛門を窃み見ながら『こりや萬々一の事ぢやがお道どの御標致、お殿様お目に止まる事があつたらば此方什麼とする心ぢや』

『什麼とも致しませぬ、國尾様御所望に依つて、御勤めにはさし上げましたも、お殿様お御役には遣はしませぬすぐお暇を願ふでござります』と徳右衛門は覺悟の体なり

『さうどのう』

『只今も申す、お道どのは私の心を照らすお日様でござります』

『さほどまでに思ふてある、心の中不憫ぢやで、斉様を物語るが、まことはお道どの、近々お中﨟にお役替を仰せ付けられるわの』

『むゝ』と徳右衛門は顔の色を變ゆるまでに驚き『什麼と仰せござります』

『お中﨟お役にも色々あるが、御標致を資料にお滅り上りあらせのお方は、云ふまでなくお手の付く下地ぢやでの同じお中﨟でも、お手付お中﨟とならせのお方は飛ぶ鳥も落さするほどの御威光、萬一お幸福御懐姙遊ばせば、それこそ和子様お腹、何々様に立てられるぢやわの』

『するとお道さまこの、お中﨟にお役替りござりまするかな』

『お殿様お目に止つた夏、昨日改めて奥方へ御無心の御使者参られたといふことぢや』

『奥方様(お殿様から』と徳右衛門を急き揉ませ『すると早や御手の頭がお道どの袖の端へ掛つてあるも同様でござります』

『まづさうぢや、この次にはうのた手頭がお御帯に御掛らせあらうわの』

『こりや大事、こりやならぬ』と徳右衛門は狂氣の如く『すぐお暇願ひます親父様へ申し含めて、明日にもお暇願ふでござります、私のお日様に一點の雲でも掛れば私の身の破滅でござります』

『然しおまさまには勝たれぬので、女儀がお殿様た一人に限つた理由ではない、いつそ思ひ切つて了はせられの』

『いゑ〳〵』と涙を潰すばかりに頭を掉つて『思ひ切りはなりませぬお道どのを思ひ切るは、腹を切るも同じでござります』

『さらばさう言やるお心おやお』

『あなたのお智慧を借りまする、お暇願ふ外仕方ござりませぬ』

『これが喃、町家の奉公人を出入するとは違ふて、奥向きはさうもならぬでの、こなたが如何ほど云やつてもお殿様お目に止つた上れいれひうれど暇も下さるまいでの』

『相生様相生様、どうぞ私に智慧をた貸し下さりませ』

『困るのう、左様に云ふても困るのう早やお御帯にお手がかゝつてあるでのう』

『今の中に、お暇が願つて置きたいのでござります、もし、相生様、この御恩一生涯忘れませぬ、私をお助け下さりませ』

『さ様に云ふなりや、分別を借さぬでもないが、そなた私のいふ通り何事でもしやるかの』

『きつと致します、何事でもきつと致します』

徳右衛門の息は急みて聞こゆ

廣告

成歡紀念碑
生等今般成歡驛古戰場に故松崎大尉の紀念碑建設發起致候間江湖諸君の御贊同御助力を得度候寄附金の儀は韓國銀行市原盛宏宛御申込被下度候
寄附金申込は六月三十日限り
六月十四日　(發起人イロハ順)
市原盛宏　林市藏　大庭寛二　和田常市　中村再造　山口太兵衛　男爵松永正敏　藤田嗣章　古城管堂　佐々正之　菊池武一　檜垣直右

名譽銀牌受領 **キリンビール**

眼科 診察 自午前八時至午後二時 夜間自六時至九時
京城長谷川町(韓國銀行北側)
東京醫科大學選科卒業 **田中眼科醫院**
六百六號注射需應▲入院隨意

◉**貸金** 旭町二ノ一五 別府組事務所筋向小路 高橋
有給者には極秘密低利融通可申候

朝鮮紳士錄
豫約募集
朝鮮總督府警務總監部屆濟(交詢社式)
定價一部 金五圓　總クロース金文字入 菊版千ページ内外
豫約特價 前金一部 金參圓
申込締切期日 六月三十日
發刊 七月三十一日
登載事項 政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者
以上の外朝鮮總督府、中央地方各廳、會議所、各國領事館職員錄及び銀行會社、學會、教會、寺院、協會、倶樂部等の要錄等を併載致候
本社は一昨四十二年を以て第一朝鮮紳士錄發刊の企を爲し幸に江湖各位の御贊同を得て其業を完ふ致し候、爾來年を重ぬること二、此間日韓併合の擧あり世は一變に新となり、從つて新舊人物の入替等も多々有之候に於て本社は時世の必要に應ぜんが爲め前版を改訂增補し第二朝鮮紳士錄を發刊することゝ仕候思ふに本紳士錄が半島及び内地に於て信用調査其他交際取引等に汎く便用せらるべきは過去の經驗に徴して明かなるところに有之候仰ぎ願はくは江湖の各位幸に本社の微志を諒とせられ續々豫約御申込相成本社今回の擧を御援助あらんことを茲に謹みて公告仕候
三月
朝鮮京城西小門通り
京城新報社紳士錄出版部 電話六六三番 振替口座京城四五六番
日本内地申込所 東京京橋區南佐柄木町七番地(電話新橋八七三) 京城新報社東京支局

婦人畫報增刊 五月二十日發行 定價卅錢 送料二錢五厘
兒童研究畫報
讀書
△思無邪……表情の種々
△世界各國の兒童　飛行機 和田英作三色版
△各國兒童負方抱方　△乳兒と哺乳器具色々
子守の遊び
△滑稽なる兒童の踊り　△兒童日常のいろ〳〵
いたづらの種々
△動物愛護と家畜飼養　△外國兒童の表情
兒童發育狀態
△現代兒童和洋裝風俗　△睦まじきはらから
都會と地方兒童
△孤兒院生活の兒童　△體操と讀書と食事
世界各國人形樣々
△兒童繪畫　△冒險の兒童　虐待兒
幼兒の抱方
△林間教授と胸式呼吸　△粘土細工編物裁縫　△玩具古今の色々
遊戲 餘六十種
▲低能兒 乙竹高師教授　▲兒童の姿勢 田代醫學博士　▲小兒病生意 瀬川醫學博士　▲精神薄弱兒童 三宅醫學博士　▲兒童の精神作用 元良文學博士　▲世界各國偉人兒 坪井理學博士　▲兒童心理の進歩 高島平三郎　▲都會と地方兒童 下田文學士　▲兒童の趣味養成 倉橋文學士　▲不良兒童の防止 小河法學博士　▲不良兒童の改善 留岡家庭學校長　▲動物愛護の鼓吹 石川理學博士　▲親の行爲と子孫 片山醫學博士　▲精神低格の兒童 呉醫學博士　▲誤まれる育兒法 加藤醫學博士　▲兒童の發育と食物 長井ドクトル　▲兒童食物の研究 唐澤醫學博士　▲身體發育の順序 永井醫學博士　▲必要玩具と特色 和田高師教授　▲玩具の變遷 久留島武彥　▲兒童衣服の色合 菅原文學士　▲兒童の叱り方 巖谷小波　▲兒童の表情 長谷川文學士　▲行政に於ける兒童 富士川ドクトル　▲親の實の保護 大森英嵐　▲兒童より見たる遊戲 永井高師教授　▲必要の兒童遊戲 坂本高師教授　▲成蹊の兒童 宮川高師教授　▲貧民社會の兒童 高田法學士　▲家庭に於ける兒童 高島文學士　▲乳房の研究 河瀬醫學士　▲家庭圖書館 松本師範校長
發行所 東京飯田町四の四 東京社 振替東京一八一八 賣捌各地書店

東京電報（十五日發）

▲康有爲氏來　久しく新嘉坡に潛み居たる康有爲氏は昨十四日突然來朝し神戸の客實に梁啓超氏を訪ひ當分滯在の筈なり

▲春蠶收繭豫想　本年春蠶掃立豫想總數は二百六十一萬八千〇十三枚にして收繭二百四十七萬〇七百四十八石の見込なり

▲貯金納稅制度　遞信省は納稅貯金に付き調査中なるが該制度は納稅義務者をして[illegible]貯金せしめ遞信省より引出し納稅する方法なり[illegible]

▲伊東元帥歸京　海軍特命檢閲使伊東元帥は昨十四日横須賀より歸京せり

▲聽納金據不成立　米國帝國議會に於ける[illegible]案は上院の反對に遭ひ不成立に終らんとす

▲史蹟國費保存　内務省は史蹟天然物保存を國費にて保存すべく目下實地に就き準備中なり

▲下院事務局官制　衆議院事務局にては書記官長の次席に[illegible]

▲兵學校卒業式　本年度江田島海軍兵學校を卒業すべき海軍少尉候補生は[illegible]名にして來る十九日卒業證書授與式あり[illegible]

雜報

●漁業令の實施期　[illegible]發布されたる漁業令の實施期に關し[illegible]漁業組合規則[illegible]漁業稅法[illegible]一ヶ月を要する[illegible]

●森林令は如何　總督府森林令は既に[illegible]るものにして既定の森林法は殆んど棋しれたる由なり而して森林併合後の傾向を見るに[illegible]から經營せるもの多かりし規模の專門的經營者續出し遂に好望の機運に向ひ若し該令の發布あらば更に[illegible]を促がすに到るべく則ち[illegible]に非常の便利を與へ居れり

●京城間電信計畫（直通）　京城東京間直通電信開設計劃に就ては遞信省との間に意見一致し遞信局は京坂間直通電信の例に倣ひ目下調査中なるが本年の末までに調査を了すべく而して工事着手は明年一月より之を行ひ遲くも明年秋季までに開通を見るに至るべしと

●訴訟代理業者に關する制令　既報の如く十五日總督府制令第八號を以て發布され公布の日より即日施行其全文左の如し
第一條　[illegible]理事官の許可を得て訴訟代理の業を爲したる者は當分の内其の管轄する地の管内區裁判所に於て訴訟代理の業を爲すことを得
第二條　[illegible]規則第十一條第一項第十六條及第二十一條の規定は訴訟代理業者に之れを準用す
第三條　[illegible]以上の刑に處せられたる者は家資分散の宣告を受けたる者は訴訟代理の業を爲すことを得ず
第四條　訴訟代理業者の懲戒は辯護士規則第二十六條乃至第二十八條の規定に準じ總督之を行ふ但し除名[illegible]を禁止を謂ふ

●經學院規程發布　[illegible]二號を以て經學院規則發布されたるが右は從來の成均館の組織を變更したるものにして總督の監督に屬し京城に設置し各道に[illegible]究をなし風教德化を裨補することを目的とし[illegible]望ある者を講士にしめ毎年春秋二回文廟の祭祀を行ひ大提學副提學祭酒司成直講等の職員を置く事等十五日付を以て發布されたり

●柴田總裁の出發　滯京中なる柴田總裁は十六日午前九時十分發の汽車にて[illegible]一泊の上義州及新義州を視察し鎭南浦平壤に[illegible]再京城に引返し兩三[illegible]

●大觀亭の晩餐會　大久保軍司令官は[illegible]七時より大觀亭に柴田[illegible]寺内總督、宇佐美[illegible]石、柴田少將、秋山參謀、津野中佐、立花書記[illegible]

官、佐藤病院長、十時、富田黑大尉等を陪賓として招待し饗應したりと

●柴田總裁の巡視　柴田總裁は十五日午前九時過京畿道廳を巡視し夫れより高等女學校を參觀したるが正午は別項記載の如く昌德宮の午餐會に列し午後は恩賜授產場、工業傳習所及亞煙草會社の製造工場等を視察した

●昌德宮午餐會　李王殿下には十五日正午昌德宮内密苑の宙合樓に目下入京中なる柴田拓殖局總裁及隨行の同局立花書記官を招待して午餐會の御催しありたるが陪席者は閔長官、小宮次官、尹德榮侯、李完用伯、[illegible]趙重應の諸子、藤波通譯官、命來熙男及玄百運の諸氏なりと云ふ

●會社登錄稅發布　十五日午後制令第九號官報號外を以て發布されたる會社の登錄稅に關する全文を掲ぐれば左の如し

第一條　會社が登記を受くるときは左の區別に從ひ登錄稅を納附すべし

一、合名會社合資會社設立　財産を目的とする出資の價額萬分の十
二、合名會社合資會社出資增加　財産を目的とする增出資の價額萬分の十
三、株式會社、株式合資會社設立　拂込金額又は拂込株金及財産を目的とする株金以外の出資の價額萬分の十二
四、株式會社、株式合資會社資本增加　增資拂込金額又は增資拂込金額及財産を目的とする株金以外の出資の價額萬分の十二
五、株式會社、株式合資會社第二回以後の株金拂込　毎回拂込金額　萬分の十二
六、合併又は組織變更に因る會社の設立　拂込金額及財産を目的とする株金以外の出資の價額萬分の三
七、合併に因る會社資本の增加　增資拂込株金額及財産を目的とする株金以外の出資の價額萬分の三
八、債券發行　債券總金額　萬分の三
九、支店設置　毎一箇所　金十圓
十、前各號に該當せざる登記　毎一件　金一圓

支店所在地に於て前項各號の登記を受くるときは毎一件金壹圓の登錄稅を納付すべし

第二條　登錄稅は收入印紙を以て之を納付すべし

第三條　登錄稅は總て金一錢以上とす一錢未滿の端數は一錢として之を計算す

附則

本令は明治四十四年六月十五日より之を施行す會社令第十七條の會社にして明治四十四年六月末日までに設立の登記を爲すときは其の登錄稅は金五圓とす

●土地調査局員養成　臨時土地調査局にては從來事務員及技術員養成のため外國語學校漢城高等學校に別科を設け授業しつゝありしが今回別に養成所を設置する事となり技術科の生徒約五百名を募集するが試驗は七月十五日より京城大邱平壤の三箇所に於て行ふべく生徒は今期より日當を受くる事なれば出願者非常に多數に上り約二千人に達するならんと云ふ而して卒業の上は半箇年測量に從事すれば直ちに技手に任し月俸十一圓乃至十三圓の外尙ほ出張旅費等ありて四十圓内外の收得ありとの事なり

●養成所生の卒業期　別項にある如く土地調査局員養成所にては事務員の第三回卒業生二百人ありて來る七月卒業すべく技術員は第二回百四十人にして九月卒業すべしと云ふ

●現米取引市場　目下其設立に就き研究中

京城市街に現在する人口は最近の調査によれば朝鮮人約二十三萬内地人約四万九千其他外國人を合せ約二十八萬を超過し居り是等人口が日々消費する穀物は實に渺大なるものなるべし而して其内白米の需用額は幾千くを算するかといふに四十三年中京城内地人精米組合のみにおける玄米取扱高を聞くに五萬八千三百八十六石の巨額を示めせり右は多く内地人側のみに供給せしものなるが若し更に朝鮮人側を加ふる時は一ヶ月如何に少く見積るも一萬六七千石を下らざるべきなり即ち年額約二十萬石の多きを消費する現狀なるに之が取引狀態を顧みれば何等據るべき機關なく殆んど二三商人の自由自在なる操縱に翻弄せられつゝあるが如き實に遺憾の極みなりと謂つ可し現に例を内地に徵するに苟くも人口四五萬を有する都市に在ては必ず取引所若くは現物市場の設置ありて相場の標準を定め自他の利益を計りつゝあるに二十七八万の人口を有する京城の大都會に於て未だ其設立を見ざるは寧ろ奇怪の現象にして一面より之を觀れば一般商取引の如何に幼稚なるかを語るものなり之が爲めに嘗て取引所の設立を企て元統監府に申請せしも併韓後總督府より不認可の指令ありて爾來泣き寢入の姿に往苒し居りしが扨て其實際に顧みれば幾多不便の事多く現に小賣相場の如き時井三巴京城三精米所の談合によりて左右せられ啻に小賣商人等のみ苦痛を感じ居るのみならず多數の官民の迷惑此上もなきものあり則ち同一白米を提供しながら客の甲乙に依て價格を異にせる如き事實は少しく其内情を窺ふ時は直ちに首肯し得べし日常必須の食料品に對し朝夕其價を二三にするが如き實に奇怪千萬と謂ふべし故に之を矯正せんには一定の現物取引市場を設立し此機關によりて相場の公定を計るに如かずとし關係當業中熱心之を唱道するものあり旁々商業會議所に於て目下準備調査中なる而して總督府に於ても現物市場なれば認可すべしといふ

●電氣課員の人選　新に新設さるる遞信局電氣課監督係電氣係等は既に任命を了したるも發電水力係の技師及技手等は目下人選中なるが本月末までに發表すべしと

●會議所役員會　十五日午後三時より京城日本人商業會議所役員會、議員選擧及會計報告等付議したり

●瓦斯會社の披露宴　既報の如く十四日午後七時より日韓瓦斯會社々長岡崎遠光氏は新支配人岡正矣氏の就任披露を兼ね當地新聞通信雜誌社長を花月樓に招待し饗宴を張りたるが主客歡を盡して散會したるは午後十時なりし

●朝鮮活版會社　江川活版製造所支店を基礎とせる株式會社朝鮮活版製造所は既に設立の認可を得たれば十五日午後七時より商業會議所樓上に於て創立委員會を開けり會社の資本金は二十萬圓に先づ其四分の一五萬圓を拂込み活版鑄造及印刷機械の製造修繕販賣並に活版石版其他諸般の印刷及之に附帶する事業を營む其損益勘定豫算を見るに一箇年收入七萬千七百三十二圓四十錢支出四萬七千四百七十圓差引三萬五千二百六十圓四十錢の利益とあり發起人は大村保太、和田常市、梶原末太郎、倉古禮造、釘本藤次郎、古城乘之助、江川貫三郎、且丘治良右衛門外十數名なりといふ

▲人さま〴〵▼（五十三）

池田長兵衛君

池田長兵衛君は純の純なる前垂れである、而かも大阪出身で河童頭から叩き上げたのだ、大きな聲では言へないが學問的素養は全然何とかである、併し習ふより慣れるで飽迄常識が發達し何處へ出ても退けを取らぬ處に偉らい、君の店舖は街の區劃から見れば本町四丁目であるのに二丁目に屬して居る、謂はゞ何方とも付かぬ洞ヶ峠の形ツコに君の面影彷彿たりだ、見ー非常の世話好きで町内に事があれば必ず君の東奔西走が始まる而かして奇妙に圓滿に且つ公平に處置して了まふ、故に町内又缺くべからざる人物として持て囃され更に商業會議所議員としても甚だ評判が能い。

●一銀支店員交迭　第一銀行釜山支店支配人野口弘毅氏は今回本店營業部副支配人に轉じ其後任には同京城支店副支配人河野正次郎氏命ぜられ同時に下關支店支配人清水百太郎氏は東京本店調査課長に轉じ神戸支店副支配人大澤佳郎氏は其後任となり本店調引掛長内山吉五郎氏は日本橋區新大坂町支店支配人に轉じ本店檢查掛長鹽森忠三郎氏は神戸支店計算方に轉じ本店營業部副支配人兼調査課長野口彌三氏は兼務を解かれたり

●憲兵隊の異動　憲兵司令部附村井大尉は京城憲兵隊附を命ぜられ同時に司令部兼勤となり同司令部付の加藤中尉は京城憲兵隊付を命ぜられ第一分隊勤務となり楊州在勤の石崎中尉は全州に轉勤の事になりたるが其後任は大塚京城第一分隊長補任の事に内定

●京城文庫の引繼　南大門通に新築中なる京城圖書館の工事は今般落成したるに付き京城文庫所藏の圖書全部を引繼ぎ來月上旬移轉の筈

●仁川祝賀慰勞會　仁川築港起工式及祝賀會の遺漏なく擧行せられしは偏に委員の盡力にありとし其勞に酬ゆる爲め仁川民團役所にては十四日午後六時より八坂樓に於て大慰勞會を開催出席者二百余名岩崎仁川民長一場の挨拶をなし次に奥田顯原爾氏の委員を代表し諸般の報告ありて後宴は開かれ中央料理店組合より出でたる數多の紅裙酒間を斡旋し手踊其他種々の餘興あり一同十二分の歡を盡し十一時散會す

●鳥致院淸州間新道　鳥致院淸州間における新道は今般落成を告げ去る十日より一般の交通を開始せり

●朝鮮漁業と福岡縣　福岡縣下の朝鮮出漁は去る三十八年度に於て二十戸の長期出漁せし以來年々之に對し縣費の補助を與へ出漁を獎勵勸誘せし結果今日にては巨濟島長承浦を始めとし多太浦、太邊、方魚津、群山、仁川、龍山等を根據地に選定し漸次移住する者多く去る三月末の調査に依れば各根據地を併せ百六十二戸人口約六百餘を有せり出漁船は肩巾七、八尺長三十五尺乃至四十尺にして之に要する新調費は約二百五十圓以上三百五十圓位にて縣は之に對し一隻に付五十圓乃至七十五圓内外の補助を與へ又出漁者が携帶せんとする特別漁船六尺以上七尺未滿のものには三十五圓より四十圓の補助をなし四十三年度中には石油發動機三艘及普通出漁船三十艘計三十三艘を新調し之に對し三千二百八十圓の縣費補助をなしたり出漁業の漁業種類は多種多樣なるべきも其重なるものを擧ぐれば左の如し

▲長承浦七五戸、大敷網、手操、釣網、長網▲多太浦一五戸、地曳、手操▲太邊一五戸、長網、地曳、手操▲方魚津三一戸、長網、鯖流網▲群山一九戸、▲仁川三戸、長網、鮟鱇網▲龍山五戸　鰻搔、投網

●麻浦普通學校の開校式　公立麻浦普通學校にては來る十六日午後二時より開校式擧行其式順を示せば一、敬禮二、君が代四、工事報告五、府尹式辭六、來賓祝辭七、監督答辭にて閉式となるものにて該監事務取扱小松崎金次郎氏よりそれ〴〵案内狀を發せり

●木内長官の歸期　東上中なる木内農商工部長官は多分二十四五日頃歸京すべしとの事なり

●司稅局長の歸任期　東上中なりし鈴木司稅局長は今十五日東京出發名古屋大坂下之關等に各一泊の上來る二十日頃歸任すべしと

●永谷警視の出張　永谷警視は往復十日間の豫定にて晋州三千浦晋州の各地を巡視する由

●中村農務課長歸任　管内視察中なる中村農務課長には十五日午前九時南大門驛着列車にて歸任す

●近藤博士の下仁　内務技師近藤工學博士は十五日午前九時四十三分仁川驛着島航路標識所長及平田技師等の案内にて仁川水道貯水池觀測所仁川港灣等を視察し鮮樓にて晝餐後午後二時十五分仁川發列車にて歸京す

●成田技師歸任　成田遞信局技師は過日來鎭南浦電氣線檢査の爲め出張中のところ前日歸任せり

▲仁川港の出入船舶▼

△隅田川丸　十六日横濱より入港
△城津丸　同　長崎より入港
△群山丸　同　大阪へ向出港
△城津丸　同　大連へ向出港
△漢城號　同　安東縣へ向出港

▲京城手形交換高▼

六月十五日　金　高　一三一八一五、四四〇　枚數　八五

内地巡禮日記（七）　水浪生

前號に於て余は伊勢太廟の參拜を以て日本國民たる者の有する特權なりと云つた。而して方今此特權を行使する者が只に在内地の同胞のみならず半島移住の同胞中にも著しく多くなつたとは喜ぶべき現象であるのだ、之を二見の旅館主人に聞く、彼の長髯翁七十五壽○○本年の一月一日を以て初參拜を遂げ同時に初日出の壯觀に接せられたツウだ。嗚呼太廟の參拜、斯は帝國民の特權にして同時に天照太神の啓示を受くる所以だ、されば乙ぞ我國帝陛下は史上前例なき今回の參宮を思立ち玉ふて範を萬民に垂れ玉ふのであるのだ、余窃に思ふ、伊勢の誰れもが其特權をして少なくも生涯に一度は伊勢に參宮すべしである、而して國祖天照太神の啓示を受け自巳の偉大なる所以を自覺すべし[illegible]つた、而して茲に特筆せざる所の者は我太廟と新附の國民の關係である、人は言はん朝鮮人は異種民族也、故に天照太神の赤子と呼ぶの特權なしと、併しすれば斯は大なる誤りである、陛下の赤子として己に入にして[illegible]等は是に因つて太神を[illegible]特權を得たるものだ、何ずれの日に於て太神の御前に[illegible]べき、論じて茲に到る、參宮は現今及び將來に亘つてすべきものだ、而るに茲に併合以來半島官民の盡力にて内地へ送られたる多くの鮮人[illegible]觀察所の觀察大に良し日程に太廟參拜の一事を缺けり日程中に太廟參拜の大事を缺けるは前人共の過失だ、併し余は過去を答めぬ、ドウか將來に於て心して過去の過失を繰返さぬ事を望む。ホテルバアラーに於て一說を耳にす曰く今秋九州大演習御親率の大元帥陛下には親しく太廟に[illegible]らせらるべしと、思ふに此說實どならんか、一般國民の太[illegible]に深きを加ふるは明かなり[illegible]

▲茶殼▼

併韓後朝鮮人の耶蘇教徒が急轉直下的に減少したとて外國宣教師等孰れも頭痛鉢卷を極めて居るそうだ▲處で或る宣教師に事實然るか問うかとたら「イヤ決して其んな事はない從來は韓國と日本と二つのつた爲め彼方立てれば此方が立たぬといふ[illegible]しい境遇であつたが併韓後[illegible]寧ろ行動し能くなりました、[illegible]るのは信仰が薄らいだのでなく[illegible]徒が淘汰されたのです故に却て居る次第です」と▲勳章と金の論功行賞は總べて現ナマで[illegible]して其數亦頗る多い▲此人々は勳章の方を夢みて居つたのにした爲め勳章なんど仕方があるものか死後墓碑を飾るのみだ、寧ろ貰つて現實的用に供した方がだと負惜みを言つて居る噂を[illegible]守になつたらハヅむ事であるの[illegible]的狀態に在る各地民團は[illegible]が氣で無いと見え京城民團に[illegible]督府の内意を探つて呉れよと頼むで來るそうだ。

▽一日一題△

忠といふ字をよく〳〵見れば外へちらさぬ此の心（白雲樵[illegible]）

●相場電報（十五日）（明治町西村支店着電）
▲大阪　期米　寄付　[illegible]　引　[illegible]
▲東京　期米　寄付　[illegible]　引　[illegible]

●仁川米豆取引所　●十五日前場大月限東京不申▲七月限十一圓十錢▲八月限十七圓二十一▲止十七圓三十一錢

▲京龍間驛の貨客▼　貨物貨金　一、一八二、〇九　乘車客（十四日分）[illegible]　一七七　降車客　一八六

群山俄道中記

六月四日 山葉水神生

狭いとて四顧の轍、悪いと云つても花の全州は道廳所在地から、群山に通ずる一本路は新設横道路なり、五十キ百哩の路は往く客も有る可し有るからとて、載せて十二里事も無く馬車も通じ、京城だつて東京に比べ今路は譲らぬ、人間は諦めが第一なりと頓生着提即ち頓悟、賣業少々足取りが拘ねても一ヶ苦情に取り立て、何事も不運と諦らめ、腰が痛むや腰を按摩し、頭を打ては頭を撫で、グツと突き上ぐれば自分で氣を取り直し、應急手當だけを怠らず、行程三里は無事なりき。氣絶等の憂ひなしど氣ゆるめし抑々の誤りも五三里と云ふに準じて見れば、鉄工式場順路と書いたる標一本。馬は皆左に回らしあは其れ我が馬車は本道より、幅一間の間道を何ぞ退れむ、雨後の泥濘、只夫れ馬車泥濘に深くへつて、押しても引いても金輪際、動かにや少々困るもないか。それでも恐々ろ一里を乗りつけ外日に接ぎ乗り、降りればよいがと云つて里は川崎驛附近に到れば、一天俄かくより仕方なし、ザーッと大粒なり。格別の事無きも、一日里を出づれば路頓かに狭小、今は全く馬車を通せず馬車の進退窮に谷まる、即ち人間は歩行くより仕方なし、と云つて雨具が無い、聞けば式場にはまだ二里半と云ふ規定は午一立食時刻、早しい様だが實を云へば今朝来一行全く飲まず食はずの下地は十分、夫れ一旦御意を得んか慨然として身幹すれ馬食せんのみ、然らずとクヤシがる龍門は張い様でも武士に似合はぬ優しい處あり。

何分今朝早起きしましての、急ぎまして地位と身分と年頃の手前口にや言はねど山田校長も、ひもじうないと云ふ顔付、足取りの形勢頗る危殆に瀕したり。然たり。

しだで一杯ひきやりませんでの、やや引きつゝましての、横顔からてう一番に其合で歩行く力がぬけましての、何だか妙に變な分の朝一杯がぬけましての、何それと言はねど繰り返しての述懐はよく〜の横を見へてけにわはれなり。邪魔にあらねど、兎に角二里を小走り、

やつと實登山下の鉄工式場事務所に着きしは午后四時半。

いざ先づと招ぜられて温突の假事務所にフイと這入れば是はしたり、深尾內部書記官天野群山府尹以下珍客二三十人、主人の藤井組合長は嬉れ抜れでど款待懇切、定め！御空腹でと川崎理事は親切な人、澤村九平君も何かとゆつけられて兎も角も、人の情けに飢へもせで、ても有難き世なるかな。

さて改めて藤井水利組合長の挨拶に依れば、實は本日皆さま道路た結しと願ひ誠に感謝の至りながら、斯かる天候已ヶ得ず式は明日に延べましたので、御迷惑ながら今夜は當所へ御泊りを。迷惑處かホツと安心一先此處に落ち着きたり

悔悟の自白(一)

金波投

左の一編は淡路國津名郡岩屋町生れ石川ひさ子なるものが半生の自白なり、同人は目下京城某所にあり

妾の生れはツヲ昔しつから人がよくいふ淡路女に何見せな髭拂禽で追駆るさ謡はれたその本場よ十五の年まで妲瀬兄弟の傍に居れけど笑つちやいやよ妾國の襦作がいゝのでまだ肩上げのある子供だのに村の土臭い若者共がつけつ廻しつ五月蠅のよそれがいやさと二つには郡會へ遊ぎ出して氣隨氣儘に浮氣三昧がして見たいと愛に小娘に似合ない大膽な量見を起しては翌る十六の春に一切無斷無屈で國を飛出してすぐ河向ふへ海向ふの神戶に足を止めてねなにしろ東を向いても西を見ても知らぬ人斗りの土地へ出て來たのだから御難さ一寸心細い氣がれてつたけど仕方がないから生れて初めてさ口入屋へ這入りこんで最初は堅氣の奉公口へ世話を頼んだのようすると丁度幸ひ兵庫で相當の資産家の隱居の宅で小間使がいるといふので口入屋からうこの家へ目見へに連れて行かれたの處がね其家のとしより夫婦に大變氣にいられて妾でなければならないように大事にして呉れて奉公人と云ふよりは寧ろ娘と思ふ位に優待をうけたのけれども妾しにして見ると何の趣味がないのよ寄へると見ると此儘て〻の家に柔順しくして居たら迚も前途の活動が出來ないと思つて堪忍してれくれよ妾し醉ぼらつて居るもんだからつい濃語が出てさ是れも人に聞いたのだから字は知らないのよ全体生意氣だねへ笑つちやあいやよもよ一ッ出るよンヲての思つた心が即はち妾をして今日あらしめた楷梯さ夫れ然り豈夫れ然らんやてへなてとで日とくらして居ると此處へ出入をする女髪結全体女髪結なんてへもの位碌なものはないの中に口實の使位するものはいくらもあるのよヲホ……其髪結がある日部屋で妾しの髪を結ひながらしきりにわきにいゝ奉公口があるからどういつて調子に乗つてうまいことづくめの仕なしで妾しをそゝのかすのよ其時はまだ世の波風にあたらない未通だからとう／＼其女の口車にのせられてしまつたのよ夫から此家を出てから先のことをたのんでおいて約束の日に憎しがられるのをむりに暇をとつて生田の傍に住んで居る女髪結の怪しげな家へと身を落付けたのさオア是から先が妾の本調子なのよ

●驅落か犯罪人

滋賀縣警察署より仁川警察署へ宛て橋本幸三郎(三五)木村とみ(二五)の兩人取押方電報にて照會ありたるより仁川署に於て諸所搜査せしに既に京城に向け出發三ヶ月旅館に投宿の形跡ありとて南部署に移牒し來りたるに因り同署は直ちに長野刑事に命じ搜査せしめしに南大門外御成町山口屋に類似の者投宿し名澤に東京府木村保(三五)木村とみ(二五)と記しあるも事實を取調しに橋本に相違なきより御用と本署に引致滋賀縣警察署に取押の打電ありしと

●職業を種に詐欺

西部北門洞十六統六戶蔡永均(二二)は龍山麻牛井洞百八十統九戶李聖學(一九)と共謀して粲柱元を日韓瓦斯電氣會社電車々掌に周旋す可しと欺き金三圓三十錢を騙取し京城區裁判所に於て各懲役二ヶ月に處せらる

●滊車に乗違へる

京城南部倉洞住天一銀行員柳大學の子福成(九つ)は十四日自宅を出で龍山に行くとて南大門驛より滊車に乘り下龍したるに同日午後再び滊車にて歸らんとて乘車せしに該滊車は仁川行なりしより杻峴驛に至り他人が澤山下車するより自分も下車せしも知らぬ土地とて歸途に迷ひ彷徨し居たるを警官認めて取調べたる處前記の如く判明し本署に保護し置き早速郷に引取らしめたりと

●小泥棒の檢事送

福岡縣三池郡大牟田町當時住所不定山口末吉(二三)は八日午後八時頃龍山元町三丁目松井傳七方に忍入り洋傘二本外二點を窃取したるを初めとし外二ヶ所に於て衣類外十一點を窃取檢事局に送られ十六日京城區裁判所に於て公判開廷せらる可しと

●熊皮二枚を盗む

龍山祝町十一番戶野澤幸吉方香川縣人白川滑八(二六)は五月九日午前七時頃南山町三丁目巴城館表錠欄に附屬せるを開き戶より忍入り應接間に入り熊皮外二點(代百五十餘圓)を窃取京城區裁判所檢事局に送られ公判の結果十六日言渡の筈なり

●様ない物を盗む 東大門外小井庵洞二統一戶鄭光春(一九)金富吉(二〇)は泥棒數十種窃取し南部署に引致取調中

●恵與金一圓 仁川製塩所伊東佐吉氏より昨十五日河野昇一家へ恵與さる

多情多恨

京城藝妓の半生(卅五)

清水席 笑太郎(一)

私の履歴程れ恥しいのはないから、と云つて彼れは話を仕得ぬ、藤井の太郎さんを彼れ程れした腕を持ち乍ら馬鹿にするナ、と擲へば『私しらん―』とツンとして横を向いて唇をピリ／＼顫はして居たがホロリ／＼と涙を零す現に角彼れは本年十九とは云へど訓と數へれば十七歳と七ヶ月小便臭い女たるを免れぬのだが邪氣のない處が賣りものとなつて大に賣れて居る、彼れが其のれ恥しいと云ふには大に理由があるのだ、話し變るが廣島縣可部町に巌船寺と云ふ本願寺派の寺格卑くからぬ寺院がある笑太郎は實に此の巌船寺住職巌船寺某の娘で本名をしげ子と云ふのだ、坊主の娘が藝妓となるのも前世の因縁だ、坊主が回り諄い三世因縁の說教よりは藝妓の手ッ取り早い不言實行主義の教化引導の方が遙かに其功力が卓越してる證據は即ち彼れの父が幾十年修業の功もなく其の娘を藝妓たらしめざるを得ざるに反し彼れは齋關僅かに四年ならずして已に一方に嗣を稱し四方に秋波を送りて有緣無緣の衆生を濟度したること既に幾百姻類なるに見られるのであらう、彼れ未だ春秋に富む今後の活躍振りこそ更らに刮目に値するであらう、閑話休題彼れが十五歳の夏或る事情よりして巌船寺を解散する事となつた、實父は重病 罹つた、と云ふ悪い事が重なつたのでれ國風に隨つて彼れも習はせられた遊藝を力に藝妓を稼ぐ事になつて廣島の疊屋町西本券番の榮子と云ふ妓の妹分として玉江と名乗つて左褄取り初めたのである、然して其處に十月計りを勤めて十六歳の三月今の清水席の女將が藝妓置家を京城に開く目的を以て實鮮するに誘はれて政彌と三人京城に乗り込んだが一寸便る人もないので同縣人たる永樂町の幾代に三人共厄介になる事になつて入り込んだが花月や御翠や井門や清華などとは格は下るし不景氣ではある斯して居ては口の心配はないが卯段の上る時はない例令一時は苦勞しても獨立しなけりや駄目だと三人話し合つた末運を天に任して其の年即はち四十一年の六月一日壽町に小さな家を借り込んで清水席の軒燈を掲げて當地に於ける藝妓置家の先驅をなした、イヤ當時の清水席、無慘なもので炊事道具と云つても釜、鍋、摺鉢、杓子、茶碗三つ、箸三膳、七輪一つにバケツが二つ、石油罐と長火鉢と云ふ位なもの、夫れも一時に買ひ調へたのぢやない、夫れが人間の運と時勢の推移と云ふものは恐ろしいもの少しの間に眼の回る程繁昌藝妓來も一人殖ゑ二人殖ゑて住宅も手狹と云ふので南山町へ移轉することゝなつたのであつた(つゞく)

平民文庫

▲旭町三丁目に堤重四郎事務所の看板がある何の事務所だかと探つて見るに他人の債權を曾賀名儀の下に讓受け內實は辯護士と自稱し着手金何程成功謝金何程と云ふ調子で訴訟行爲をやつて居る辯護士でも特許辯護士でも代書業でもないのに(踊本)▲古市町二丁目の辻本建具屋の裏長屋に女世帶の妹姉あり姉は二十三四にて裁縫をし妹は十七八才にて龍山電話交換局に通勤し至て堅氣らしきも姉は顔らの多淫にて鐵道局に出勤する塚本と密通し妹の夜勤の時は同人を留泊せしむることもあると云ふ兄は相當名譽ある人なるに不心得と云ふべし(岡燒生)▲某信通局に諸備人の取締を爲さる、鐵筋殿は主査の職行を見習ひ只々賄賂によりて傭人の命免又は商人の出入するを彼是と盡力さる其の裏面は實に呆れること多し上官が存知なくば一々素破ぬきましようか(實見生)▲田の字氏へ謝す生等の観御拾得切手貼付投函給はれしとは實に感謝の餅なし乞ふ御住所れ知らせ下され(上、古二生)▲東光舍にて賣出したる「天狗」と云ふ煙草は非常に美味だ價は二十本二錢五厘で朝日位に喫めますね(舒煙生)▲政子と云ふ藝者は男ぎらひだと云ふことだがホントか知ら眞實とすれば京城には珍らしい者だが併し男は嫌ひでも金には轉ぶだらう(三印)▲深くは知らんが彼れの男嫌ひにや因縁がある年期か開けて歸るのを東京で待つてる人があるのだ相ですから金には轉びますまい(小僧)▲半生子さん一駒姐さんが本町三丁目の〇田の番旦那を振つた事實を知つて居られますか(仲居頭)▲十四日の貴紙仁川樂浦祝賀會拾遺でう見出しにて三人乞食の職行を北書きになりましたが序を以て其姓名を御發表下さい(會員の一人)▲第一樓の遊興費の高いのには驚く聞けば娼妓を慮めるのに妓夫と仲居に命じて行せる相だ(同情生)▲當地にても娼妓待遇規則なるものゝ必要があるか(小僧)

サッポロ
ビール

●演藝だより

●龍山座 益々好人氣の新派翠香團鶴田俊之助一行は愈々十六日十七日の兩日近代の事實劇蛇の執念孝子の譽れを上場すべく當狂言は翠香團一行の最も得意とせるものにて特に兩日は座前に飾付をなし僧侶を招き擴大に開演すべしと云ふ

●歌舞伎座 立志團一行十六日の代り狂言は『巳ヶ罪』全十五場にして重なる配役左の如し

西洋人モリソン、塚口謙造(稻葉)櫻戶子爵(郡)たまき(淺井)れしま、作兵衞娘れさく(藤島)作兵衞(志村)三輪傳三(阿部)車夫熊藏(大山)醫學士吉田(北村)下女おまつ(寶井)玉太郎(小川)正弘(中村)

廣告

公告

一塊炭 二百五十噸

右購買ヲ競爭入札ニ付ス入札希望ノモノハ六月十五日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

明治四十四年六月十六日

朝鮮總督府

●貸倉庫 京城郵便局前入 御望みの方は 田中屋履物店へ 京城郵便局前(電話一〇八六番)

朝鮮總督府御編纂
總督府月報
毎月一回二十日發行 一冊定價金[illegible]
初號六月二十日發行
發賣元 京城本町二丁目 日韓書房 電話百四十五番 振替京城百十五番
大賣捌所 釜山 吉田博文堂 [illegible]

直輸入毛織物各種 旅行鞄及籐椅子冷藏庫 卓子掛夏座布團 花莚 刀劍類、馬具一式 柔道着 大學石鹸長崎製洗石鹸 舶來空罐洋燈各種 火止石油機械用油各種
ノンパレル 火止石油特約店
京城本町三丁目 森安吉商店 電話四三〇番 振替口座朝鮮一五〇番

耳鼻咽頭喉頭 氣管氣管枝病專門
診療時間 午前自九時至十二時 午後自二時至六時 日曜祭日午前ニ限ル
京城本町二丁目 石田耳鼻咽喉氣管病醫院
前京都醫科大學耳鼻咽喉科教室醫員 前民團立漢城病院耳鼻咽喉科部長 石田誠 電話七〇九番

牛乳の大王
朝鮮總督府醫院特定御用
京城大和町一丁目 平山牧場 電話一三三番

齒科診療
京城南山町二丁目 齒科醫 檜崎東陽 電話千三百六十番

工業用家庭用 洗濯石鹸 浮石鹸 アイラント マツプ
其他豚脂、馬脂、牛脂、鯨油、工業用諸油製造販賣
京城旭町二丁目 電話九七三 朝日石鹸製造所 振替貯金口座京城四〇〇番

△[illegible]投宿中(十四日出發)
△杜元松[illegible](大阪府會議員) 十四日入京天眞樓へ

●相場欄報 [illegible]

●大阪期米電報 [illegible]

●諸公債諸株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
京城本町三丁目
大阪野村徳七代理店 田中友吉商店
電話九九三番

蚊帳の必要正に急なり
最新式縫目なし染分蚊帳第水枕蚊帳を初めとして關戸蚊帳株式會社特製品全部ピンデ入らず旅行便利かやに至る迄色々取揃へ蚊帳なら唐川へとの御評判を益々發揮致し充分勉強致します
今回は特に六月五日より六月二十日迄現金に限り正札より五歩引と致します
殊に地方よりの御注文は御安心遊ばす様最も迅速に御發送致します
京城明治町一丁目 （電話二六一番）
唐川呉服店蚊帳部

專賣局販賣品
土耳古 紙巻最良金口
SKS エスケーエス
特約販賣店
京城辻屋 龍山貴田 木浦沖永 馬山西川 公州中芝
平壤萬昌洋行 鎮南浦宇津木

自轉車及附屬品一式
京城支店開業廣告
當商會は永年大連に於て斯業に従事仕り常に歐米各國より直接最新且堅牢なる品を撰みて大連へ輸入致居候處今回當京城に支店開業仕候御案内の如く大連は自由港なるを以て價格の低廉なるは勿論品質の精選優良なる事を離て實物に就て一々御試見の上續々御愛顧を賜はらん事を希願候
猶修繕は懇切丁寧且安價に勉強可仕候
直輸入商
本店 大連市歐部通一丁目 松岡自轉車商會
京城南大門通三丁目 松岡京城支店

玉突臺及附屬品一式
右の外玉突臺及直輸入品英羅紗、佛タップ、佛チョーク、佛コシン象牙玉、京製ゴム輪人力車各種
等見本價を以て販賣可仕候

文房具 和洋紙
シンサキ本店
日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所
京城本町一丁目
電話長七百五番 （郵便局前）
振替口座朝鮮一五四番

新荷着
浪平板 洋釘 各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商 佐野彦藏商店
電話一六三番 振替口座京城一二〇番

全治新薬
神經痛 リョウマチス 微妙薬
アンチレモール
獨逸國ダンスタツト、スワフトーカト市ボーヲガー、ロイス會社製
伯林ベルリン、プアイター赤十字社病院勤務ドクトル、ツアイガン氏は醫事週報誌紙上に於て寒冷より起りたる諸症殊に關節リウマチス重症患者に食匙二匙を一日三回塗擦し試験したるに患部に大効を奏し漸次疼痛を去り全く疼痛を感ぜざるに至れり其他患者の皮膚に掀衝其他の障害は更に認めざりしと公表報道せり
▼委しき使用法は説明書にあり二錢郵券封入御申越次第無代送呈す
全國藥種商 賣藥店にあり
輸入元 横濱市太田町二丁目卅一番地 藥種貿易商 阪田鉄太郎商店
（長電話五二五番 電話（サ）振替貯金口座東京一〇二七四番）
特約販賣店 東京本町森田 同 石浦 同 本石町淺野

夏帽子荷揃
パナマ、麥稈、學生用夏帽子
京城本町五丁目
丸二帽子店

韓國銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 本金壹番 壹貳六〇番 六數貳番 壹貳六壹番
支店出張所（大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

清正 政宗 正則 醸造元
上酒 小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
清酒 味淋 燒酎 醸造元 並に日用食料品販賣
中井酒造場販賣部
京城壽町三丁目
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候
電話百七十七番

ボビナイン
飲むだけ血になる
ボビナイン
朝鮮代理店 京城本町郵便局前 山岸天佑堂
振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番
横濱市境町 合資會社友田商店
振替口座東京一九三八番

旭屋旅館
仁川海岸
弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館
なり 御客様の安全此の上なし
電話二五一

新製煙草の大發賣
喫煙家の好福音
富貴 二十本入 定價六錢
天鷄 二十本入 定價二錢五厘
本社は各國の名葉を撰び獨特の製造法に依り第一着に以上の二製品を發賣致候大方各位何卒御試の上御高評を賜らんことを
京城太平町大漢門前
東光社煙草製造所
電話一七〇六番 一八二三番

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目
（電話一五四九）

今回顯著改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所
仁川 八景園
（電話五五二番）

義齒術一般
京城明治町一丁目（舊、村質店跡）
榊齒術所
電話は（六六九番）へ

世界一のかぜ薬
蛇印 アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう・りうまちすに大効あり
發賣元 丹平商會
代理店 京城 新井藥房
電話九〇四番 振替口座京城一六八番

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科専門醫院
電話一〇四七番

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）
坂倉支店

夜間診察は九時迄
入院隨意
仁川病院
電話六〇六番

朝鮮牛乳及牛種改良元祖
消毒純良 高等牛乳
京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）
龍山本町三丁目 龍山販賣所（電話一〇二番）